

「周波数割当計画」の一部変更（平成13年7月18日電波監理審議会諮問・答申）

変 更 案				現 行			
第2表 27.5MHz-10000MHz				第2表 27.5MHz-10000MHz			
国内分配 (MHz) (4)		無線局の目的 (5)	周波数の使用に関する条件 (6)	国内分配 (MHz) (4)		無線局の目的 (5)	周波数の使用に関する条件 (6)
90-108	放送 <u>J37A</u>	放送用		90-108	放送	放送用	
(略)		(略)	(略)	(略)		(略)	(略)
170-222	放送 <u>J37A</u>	放送用		170-222	放送	放送用	
	移動 <u>J58A</u>	<u>電気通信業務用</u> <u>公共業務用</u> <u>一般業務用</u>					
(略)		(略)	(略)	(略)		(略)	(略)
470-585 J46	放送	放送用		470-585 J46	放送	放送用	
	陸上移動 <u>J73A</u>	公共業務用 放送事業用			陸上移動	公共業務用 放送事業用	
585-710 J32 J74 J75	放送	放送用		585-770 J32 J74 J75	放送	放送用	
	陸上移動 <u>J73A</u>	公共業務用 放送事業用					
<u>710-722</u> J74	放送 <u>J75A</u>	放送用					
	陸上移動 <u>J73A</u>	<u>電気通信業務用</u> 公共業務用 <u>一般業務用</u>					
722-770 J74	放送 <u>J75B</u>	放送用					
	陸上移動 <u>J73A</u>	<u>電気通信業務用</u> 公共業務用 <u>一般業務用</u>					

国内周波数分配の脚注

二重下線部分が変更箇所。

変 更 案	現 行
<p>J1 ~ J36 (略)</p> <p>J37 75MHz の周波数は、航空用マーカ・ビーコンに割り当てる。電力又は地理的位置によりマーカ・ビーコンに有害な混信を生じさせ、又は制約を与えるおそれがある他の業務は、74.8-75.2MHz の保護周波数帯の境界に近い周波数の使用はできない。</p> <p>J37A <u>放送業務(テレビジョン放送に限る。)によるこの周波数帯の使用は、2011年7月24日までに限る。</u></p> <p>J38 ~ J57 (略)</p> <p>J58 この周波数帯は、移動業務に密接な関係を有する固定業務にも使用することができる。</p> <p>J58A <u>移動業務によるこの周波数帯の使用は、2011年7月25日からとする。</u></p> <p>J59 ~ J72 (略)</p> <p>J73 460-470MHz 及び 1690-1710MHz の周波数帯は、気象衛星業務以外の地球探査衛星業務による宇宙から地球への伝送のため、無線通信規則に定める周波数分配表に従って運用する局に有害な混信を生じさせないことを条件に使用することができる。</p> <p>J73A <u>陸上移動業務によるこの周波数帯の使用は、2012年7月25日からとする。</u></p> <p>J74 この周波数帯に現存する固定業務の局は、当分の間、その運用を継続することができる。</p> <p>J75 608-614MHz の周波数帯は、二次的基礎で電波天文業務にも分配する。</p> <p>J75A <u>放送業務によるこの周波数帯の使用は、2006年7月24日までに見直しを行う。</u></p> <p>J75B <u>放送業務によるこの周波数帯の使用は、2012年7月24日までに限る。</u></p> <p>J76 ~ J210 (略)</p>	<p>J1 ~ J36 (略)</p> <p>J37 75MHz の周波数は、航空用マーカ・ビーコンに割り当てる。電力又は地理的位置によりマーカ・ビーコンに有害な混信を生じさせ、又は制約を与えるおそれがある他の業務は、74.8-75.2MHz の保護周波数帯の境界に近い周波数の使用はできない。</p> <p>J38 ~ J57 (略)</p> <p>J58 この周波数帯は、移動業務に密接な関係を有する固定業務にも使用することができる。</p> <p>J59 ~ J72 (略)</p> <p>J73 460-470MHz 及び 1690-1710MHz の周波数帯は、気象衛星業務以外の地球探査衛星業務による宇宙から地球への伝送のため、無線通信規則に定める周波数分配表に従って運用する局に有害な混信を生じさせないことを条件に使用することができる。</p> <p>J74 この周波数帯に現存する固定業務の局は、当分の間、その運用を継続することができる。</p> <p>J75 608-614MHz の周波数帯は、二次的基礎で電波天文業務にも分配する。</p> <p>J76 ~ J210 (略)</p>